

# ちょっとひと工夫

— 家庭学習改善のための情報 —

家庭学習通信 No.17  
平成 28 年 6 月発行  
長野県教育委員会  
学力向上推進チーム  
G チーム

## 自ら進んで行う家庭学習をめざして②

G チーム 研究班 高橋 廣貴（総合教育センター専門主事）

飯田市立緑ヶ丘中学校では、昨年度から教職員の中で、やらされる宿題から自ら進んで行う家庭学習への改善の思いが高まってきました。そこで本年度のスタートをチャンスと捉え、研究主任が中心となり家庭学習の改善に取り組み始めました。（No. 16 の続きです。）

### (3) 家庭への情報発信

家庭学習についての取組を知り、関心をもってもらうために、各家庭にも「家庭学習についてのお知らせ」を配付しました。学校と家庭が協力しながら家庭学習の充実を進めていこうとしています。

### (4) 定期的な振り返りの場の構想

1 学期後半に家庭学習の取組を振り返る全校集会の構想があります。生徒は自分の取組を振り返り、今後に向けてより充実した家庭学習にしていくためにはどうしたらよいかを考え、教師は家庭学習に対する生徒の思いをくみ取る場にしようと考えています。

### (5) 小中連携した家庭学習の検討

中学校区で行われていた小中連携会議の中でも、家庭学習のことが話題になりました。今年度は義務教育 9 年間を見通した家庭学習のあり方について、小中連携会議で検討が始まりました。

| ＜緑ヶ丘中学校 家庭学習プラン＞ |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
|                  | どんな学習をどのくらい?  | Aプラン  | Bプラン  |
| 国語               | 読書力、読解力をつける学習<br>毎日20～30分   | 漢字練習<br>白文帳に1ページ  | 読書コラム、教科書の本文、資料や社会の教科書本文を必ず   |
| 数学               | 数学の力を伸ばす家庭学習ノート<br>家庭学習記録カードの活用<br>毎日最低30分  | 授業で行った問題をもう一度ノートに写し、問題を解く。                                      | 問題集「リポート」のA問題を<br>必ず1冊を仕上げよう!   |
| 英語               | 単語の英文の中で覚えるように<br>毎日最低30分<br>→つづいて4コマ、音読、発音練習<br>→1冊を仕上げよう。<br>→家庭でも1～2コマ、ノートがっしり<br>練習を積み重ねよう。 | 授業で学習した単語や基本文を日本語の意味と発音をセットで練習。<br>声に出しながら1行につき単語を練習。           | 「めあてきき English」の音読を録音。ノートに練習を録音。<br>「読む力を伸ばそう!」<br>→家庭でも1～2コマ、ノートがっしり練習を積み重ねよう。 |
| 社会               | 歴史の分野をより理解するために<br>→毎週 月曜日にノートを提出   | ワークブックの読解練習を録音<br>→家庭でも1～2コマ、ノートがっしり練習を積み重ねよう。                  | Aプランに加え、もう一度単元で学習したことを自分でまとめた後でみる。  |
| 理科               | 授業の内容をより理解するために<br>→週に1日～2日 観察を指定   | 毎月1回ノートに書き、観察した内容を提出する。   | Aプランに加えまとめた後でみる、さらに難しい問題(1行程度)のワークブックを解いてみる。                                    |
| その他              |   | →1日1コマ以上「生活記録」を書きます。<br>→各教科から、定期テストに向けて練習プリントなどの印刷提出することがあります。 |   |

### ◇緑ヶ丘中学校の取組のよさから学びたいこと

- ・全校生徒と全職員が同じスタートラインに立って、家庭学習の充実に取り組んでいる。
- ・各教科同じやり方で行っているため、教科担任による差が少ない。
- ・振り返りを次に生かし、よりよい家庭学習のあり方を生徒とともにつくっていくようとしている。
- ・小中連携して義務教育 9 年間を見通した家庭学習のあり方を考えようとしている。

先生方のチームワークによって、緑ヶ丘中学校の第一歩がスタートしました。各学校でも授業改善や家庭学習の見直しが行われていると思います。最初の第一歩が次の第一歩に、そして学校としての長い歩みにつながってほしいと思います。